

そのわすれ

変化は ありゆく 折に 出てくる

それか あり子 己の 目たに なる

目が みる みる 皆それ けりらし

その わすれか ひと

年を とって いて 個人 差がある

よく 知って いて 何す それ 出て 来る

通函 が出て 来る 石前 出て 来る

あれ 何れ 何う にか したら

年中 その よう 何と なる

い たら 食事 長 の 時

どう します か ... とう ね ... と ...

あれ いろいろ ね

あわ びの ...

何と なく 出て くる

あれ ころ ... ほど

あれ ころ ... ほど

時間 を かけて 名前 を ...

し ... ても 希望 ...

何 ... 言わ ...

これでは私の危殆防止には与らぬ
あつちよと子てねと思ひ出すに

果命に存る日々

そんな縁わすぬの中

食品の既交をす

信交は本来

たに夫敗作す

よとまとめつ買つてし手あう

ちのと次のかたわがの牙かやすか

この次はのやほすに

と思つていつとつたにほのつて来所へ

来る日も来る日も何をにむかへ

一と果命の毎日をすこして行ふ

2024
4/24